

11

快適で安全な運動環境

四季を通じ、快適に運動ができるスペースを確保する取組が進められています。特に夏の猛暑対策や、降雨が続いた時のグラウンド代替が課題となります。また、より授業で使いやすく、より安全な施設となるための工夫が行われています。

天候・気候に配慮



夏季の猛暑対策として、対流による自然換気を工夫した例。天井で暖められた空気が、壁の最上部のスリットから排出されることで、床面に近い位置に設けられた換気口から涼しい空気が導入される。(銚子市立銚子高等学校)



校舎に囲まれた、外壁への直射日光が遮られる位置に設けられた体育館。天井も高く熱がこもりにくい。手前の通路は、アリーナとつながっており、授業中に生徒の待機スペースとしても使われる。(秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校)



アリーナの周囲に2階を設け、ランニングコースにしている例。観覧席としても使える。(石川県立大聖寺高等学校)



体育館に隣接し、一体的に利用できる半屋外の空間。雨や強い直射日光を避けられる運動の場となる。(横須賀市立横須賀総合高等学校)

武道場の工夫



剣道場の壁面に組み込まれたホワイトボード。安全に関する注意や、技の説明などを実技の場で行うことができる。移動式のものに比べ、じゃまにならない。(鹿児島県立開陽高等学校)



柔道場と剣道場をワンフロアにした武道場。天井からビニール間仕切りを下ろして両者を区画したり、畳を収納して、全面を使った剣道大会を開催することもできる。(横須賀市立横須賀総合高等学校)

トレーニング室の工夫



アリーナを見下ろす窓を持つ、上階に設けられたトレーニング室。教師はトレーニング室の安全管理とアリーナの状況の把握が併行してできる。(下北沢成徳高等学校)

屋外施設



プールの管理室の位置に配慮した例。窓からプール全体が見渡せるので、管理者はプールサイドから戻った際も安全確認が続けられる。(大阪市立咲くやこの花中学校・高等学校)



機能、維持管理、周辺の住宅への影響、費用などを総合的に勘案し、グラウンドに人工芝を採用した例。(木更津総合高等学校)